

# 世界ジオパークがユネスコ正式事業に認定



八峰白神ジオパーク(秋田県八峰町)



隠岐世界ジオパーク(高根県隠岐の島町)



下仁田ジオパーク(群馬県下仁田町)



秩父ジオパーク(埼玉県皆野町)

平成27年11月3日から18日(現地時間)の日程で、ユネスコ本部(フランス)で開催された第38回ユネスコ総会において、これまでユネスコの支援事業として行われてきた世界ジオパークネットワークの活動が、『国際地質科学ジオパーク計画』として、ユネスコの正式事業として認定されました。

ジオパークは、地質や地形などの地球活動の記録を保全して研究教育に生かすとともに、地質や地形のなごりたちやそれらと人の暮らしの関わりを実感して楽しむところから、世界遺産と同じ正式事業への格上げで国内外での認知度が高まり、観光・教育面での活用に弾みがつくと期待されています。

世界ジオパークは洞爺湖有珠山(北海道)や隠岐(島根県)、阿蘇(熊本)など国内8箇所を含め、世界33ヶ国で120箇所が認定されています。

その国内版で日本ジオパークが31地域あり、それらの地域の内5箇所がソフィールが導入されています。

## 最近の納入事例 立花山登山口トイレ(福岡県新宮町)



福岡県糟屋郡新宮町と久山町、福岡市東区の境に位置する立花山は、近隣の老若男女の方々に愛されている山です。その立花山の登山口にこの度ソフィールを設置いたしました。糟屋郡では久山町に続き2件目となります。

規模は32人槽、処理水量1.76m<sup>3</sup>/日、土壤浸潤槽の大きさはW2m×L10m×H0.8mで処理水は洗浄水循環仕様です。設置箇所が限られた広さで重機もなかなか入っていけない状況でしたが、クレーン等を利用して無事完成する事が出来ました。

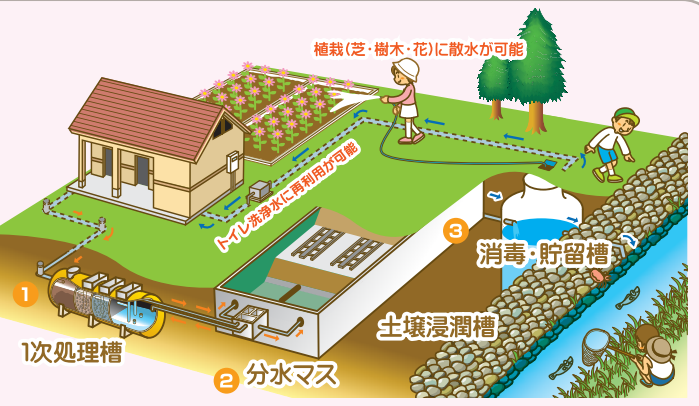
今春4月1日から供用開始しています。立花山に来られた方は是非ご利用下さい。

◀ トイレ建屋と一次処理槽(手前)、土壤浸潤槽(奥)

## “ソフィール”とは?

ソフィールとは環境に優しい汚水処理システム『土壤微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理がおこなえ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行う事ができます。

処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。



## ◆ お問い合わせ先 ◆

### ソフィール協会

三重県津市半田160番地(アルコ(株)内)  
 TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880  
 URL:http://sofil-kai.net/  
 E-Mail:info@alcoinc.co.jp

# ソフィール NEWS

vol. 06  
 2016 Spring

全国170カ所に導入!  
 環境型トイレ浄化槽!



## 特集

平成28年3月16日、17日  
 沖縄ソフィール・リフォーム試作機発表会開催  
 (沖縄県糸満市「ひめゆりの塔」他)  
 会員紹介:光建設 株式会社、株式会社沖創工(沖縄県)

## TOPICS

世界ジオパークがユネスコ正式事業に認定

最近の納入事例 立花山登山口トイレ(福岡県新宮町)



# 「沖縄ソフィール・リフォーム試作機発表会」を開催いたしました

ソフィール協会会員の光建設株式会社と株式会社沖創工、アルコ株式会社の3社で策定した「異分野連携事業分野開拓計画（新連携）」が、昨年3月に経済産業大臣より認定を受け、公園や観光地の既設公衆トイレを国内最高水準の環境技術を活用したリフォームで環境配慮や省エネルギー等の付加価値を向上させる新商品開発を進めてきました。

また、米須コミュニティセンターで、独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所の並木様から新連携のご紹介、「人造土壌技術」について三重大学の金子教授、「雨水貯留装置技術」について立命館大学の久保教授からそれぞれご説明頂きました。さらに台湾から2社参加して頂き、公益財団法人国際環境技術移転センターの田村様から企業紹介がありました。

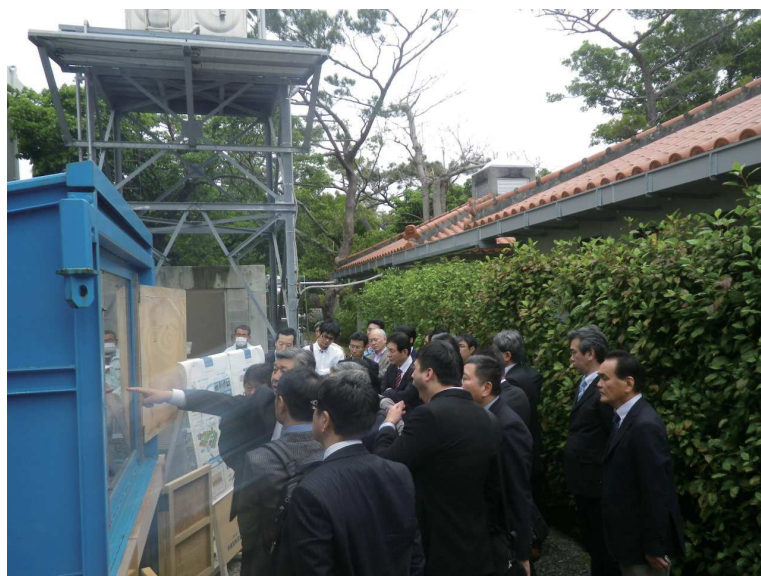
3月17日は関係者のカンファレンス方式の合同会議を行い、参加者が産学官の垣根を超えた自由な意見交換や質疑応答により、今後の事業戦略構築へ反映できる会議となりました。

その「沖縄ソフィール・リフォーム試作機発表会」を平成28年3月16日、17日に沖縄県のひめゆりの塔および糸満市内施設にて開催しました。

中小企業基盤整備機構沖縄事務所、三重大学、立命館大学、台湾企業及び国内企業から50名の参加を頂き、ひめゆりの塔に設置したソフィールを改良した地上設置型装置、太陽光発電&蓄電池システム、雨水貯留装置、遠隔監視システムの試作機を視察して頂きました。



沖縄オリジナルソフィール 新試作機



デモ機説明



糸満市内施設にて



三重大学 金子教授よりご説明



立命館大学 久保教授よりご説明

- 【日程】：平成28年3月16日（水曜日）・17日（木曜日）
- 【場所】：沖縄県「ひめゆりの塔（糸満市）」と沖縄県内施設
- 【主催】：（新連携企業体）光建設(株)・(株)沖創工・アルコ(株)
- 【後援】：ソフィール協会・(株)三重ティエルオー
- 【協力】：
  - （独）中小企業基盤整備機構沖縄事務所
  - 三重大学 社会連携研究センター
  - 日本貿易振興機構(ジェトロ)沖縄貿易情報センター
  - 中部経済産業局・日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター
  - （公）国際環境技術移転センター（ICETT）
  - 三重大学工学部 金子聡教授・立命館大学生命科学部 久保幹教授



集合写真

参加者のみなさま、ご協力くださったみなさま、誠にありがとうございました。

## 会員紹介

### 光建設 株式会社

「感謝・創意工夫・共栄」をモットーに地域社会に貢献

光建設(株)は糸満市に本社を構え、県内にも3箇所の拠点を置く、建築土木、リフォーム、設計の総合建設業を営む会社です。沖縄オリジナルソフィールの代表企業として事務局を置き、平成26年度よりひめゆりの塔へソフィールの『地上設置型デモ機』の設置や県内の営業活動に注力しています。

#### 光建設 株式会社

〒901-0306  
沖縄県糸満市西崎町5丁目6-8  
本社 TEL 098-994-5635 FAX 098-994-5637  
URL : <http://www.wakow-bussan.com/>

### 株式会社 沖創工

世界に躍動する新生沖縄創りに貢献する工の集団

(株)沖創工は那覇市に本社を構え、県外には東京・大阪に拠点をもち、電気通信・電気・一般土木施工を手掛ける会社です。「今日に優る明日」を社是として、プロの技術集団として活動されています。沖縄オリジナルソフィールの連携企業として、共にソフィールの太陽光発電・蓄電システムを開発しています。

#### 株式会社 沖創工

〒902-0077  
沖縄県那覇市長田2-5-4  
本社 TEL 098-832-1421 FAX 098-852-7072  
URL : <http://www.okisokou.co.jp/>

OKINAWA SOFIL REFORM  
沖縄オリジナルソフィール  
<http://www.okinawa-sofil.com/>

汚水再利用／太陽光発電／高い浄化力  
新汚水浄化槽を開発  
光建設など 製品化へ実証実験

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

平成28年3月17日(木)「琉球日報」掲載

エコ水洗トイレ  
電気水道いらず  
光建設・沖創工・アルコが開発

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

光建設(糸満市)と沖創工(那覇市)とアルコ(三重大学)の3社が、従来「トイレ」に必要だった浄化槽より浄化能力が高く、トイレの汚水を再利用できる循環式汚水浄化槽「新連携事業」として2016年度まで2年間の試作機開発を発表し、糸満市に設置した。

平成28年3月17日(木)「沖縄タイムス」掲載

発表会記事が新聞に掲載されました

